

平成26年度

専門委員会だより

事務局発行 第20号

2015年1月号

専門委員長会を開催

専門委員長の皆さんのが集まり、各専門委員会活動について情報交換を行いました。

参加された専門委員長（敬称略）

組織・運営	山本 真敬（住吉中）
研 修	市岡 陽子（鵯台中）
広 報	木下 崇宏（櫛谷小）
健全育成	湯田 力（長尾小）
家庭教育	福田 雅夫（垂水東中）

平成26年12月16日（火）
神戸市総合教育センター

組織・運営専門委員会では、役員歴や年齢がそれぞれ異なるという特徴を活かし、組織運営にかかる話し合いを持っています。

できるだけ早めに日程を知っていたら参加しやすいという意見が出て、2か月後の会合の日を決めて毎月1回のペースで幼稚園の役員も参加しやすいように午前中、総合教育センターで行っています。毎回テーマを決めて2～3グループに分か



神戸市PTA協議会の中で、唯一単位PTAとの接点がある場所と言ってもいい、それが、「専門委員会」です。

専門委員会は、「組織・運営」「広報」「研修」「健全育成」「家庭教育」と5つあり、各委員会は、神戸市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、盲・養護学校の5校種の、各区や各連合会から推薦された単位PTA（以下単P）の本部役員26～28人で構成されています。委員長、副委員長も同様に単P会長等です。その方々が中心となって会の内容や進め方を決めていきます。

各専門委員会は、市PTA協の年度ごとの基本方針に則った内容を、それぞれの分野から研究、企画、実施していく委員会です。概ね月一回のペースで会議を開き、毎年同じようなテーマが出たとしても、切り口が違ったり、委員さん方の取り上げ方が違ったり。成果は様々です。

委員長会では、まず今年の専門委員会のそれぞれの様子についてお話を伺いました。

れて話し合っています。ここ何回かは模造紙に自分の考えやキーワードを書き出す「ワールドカフェ」形式で行っています。大きなテーマは「PTA組織をいかにうまくやるか」。話し合いの中から深く掘り下げていけそうな小テーマを見つけ、また次の回で絞っていく…というやり方で進めています。

委員さんの意見の中には、「会長が独走する」等、わが身を振り返る、といった内容のものもあり、ドキッとしたこともあります。またPTA加入への勧め方について等、共通の話題についてみんなで考えたりもします。今後は総会での活動発表を目標に1,2月に、今までのテーマの中から特に印象に残ったものをピックアップしていきたいと思っています。

広報専門委員会は、年3回の機関紙「PTA神戸」の内、2、3回目を担当します。

広報専門委員会は、会議に集まる回数が他の専門委員会に比べてかなり多いので、前半=A班、後半=B班に分け、各回の発行までを担当しています。委員の皆さんのが力を入れたくなるのは、自分たちで企画をしたり取材したりし、作り上げる「特集記事」です。今年度はA班が、元陸上のオリンピック選手、伊東浩司氏へのインタビューに力を入れました。現在は教育委員をされており、緊張して臨みましたが、案外気さくな方で、楽しいインタビューができました。

B班は現在進行中で、震災20年に絡めた記事や、吹奏楽の指導をボランティアでされている団体の取材を特集します。次回113号は2月発行ですので楽しみにしていてください。



広報専門委員会。毎回熱心に編集作業などを行なう

研修専門委員会は、市P協の大きな特徴でもある5校種PTAを対象の「5校種合同研修会」に委員全員が力を注いでいます。

昨年度は、それまで続いていた講演会という形から、大会形式に変えました。全体会では「大人のどうとく」をテーマに基調講演を行い、分科会では、参加者が自分の好きなテーマを選びさらに掘り下げてもらえるようにしました。結果、参加者も多く、好評だったため、「今年もそれで行きたい」「もっと話せる時間を」という委員からの声が多く上がったため、分科会に特化して行うことになりました。

分科会テーマは、委員の皆さんでグループ討議を行い、その中で出た話題を5つに絞りました。つまり「今PTAとして一番関心があること、考えていきたい事」を抽出した形です。

そこから、各分科会を中心的に進めてくれる委員をリーダーに、分科会グループ毎で、運営方法や必要なもの、役割を決めたりしながら進めています。正副委員長は全体を調整する仕事のみで、委員会が自主的に活発に動いるのを見守っているという感じです。とてもいい雰囲気だと思います。



「PTA人権研修会」で活躍。H26・12・11

そして今回も「大人のどうとく」を大きなテーマとしました。神戸市PTA協議会が昨年度、近畿ブロックPTA神戸大会の特別分科会で、テーマとして掲げてから、機会があるごとにテーマとして使用しています。子供に色々言う前にまず大人としてマナーとモラルが守れているか、大人として子供の手本となるような人間か、自分自身を見つめなおそうと、市P協の変わらない課題として発信し続けています。

研修専門委員会として、市P協の事業に関わるわけですから、ぜひこのテーマで進めて行きたいと全員一致で決まりました。

今後1月27日の開催に向けてたくさんの仕事がありますが、委員一丸となって良い成果を残したいと考えています。

健全育成専門委員会では、「健全育成」という、子育てに関わる最大の課題について議論しながら掘り下げていく委員会です。いきなり「健全育成」について議論することなどはできませんから、子供を取り巻く環境や問題点などをグループ討議などで絞り込み、小テーマとして進めています。今年も「スマホ」「いじめ問題」が昨年に引き続き話題となりましたが、今年度は市P協の特別事業「神戸一（いち）受けたい授業～ケータイスマホ、あなたは何を知っていますか？～」が開催されたことを受け、スマホについて考えていくことになりました。子供たち自身が考える、スマホの有害な使い方や、悩んでいることをトークセッションしながら、解決への道を導き出すようにしていく内容でした。その中にあった「ケータイ（LINE）使用時間の制限があれば、友人グループとのやり取りが終えやすい」という中学生の言葉が心に残り、神戸市のPTAとして何かできないかと考えたからです。

委員会で提案したところ「校種も広く地域性も様々なので、スマホルールは家庭それぞれで」「子供の年齢によって使用時間が違う」「まずは親子で話し合える環境作りから」等、なかなか一つの結論にはまとまらなかったです。けれど単Pとしてスマホアンケートを取っていただいたり、スマホの時間制限についてPTAで話し合ったり、単Pで時間を決めたという報告があったりと、小さな気づきや変化はあったようです。

また、「スマホ」以外の話題として「マナー・モラル」「児童虐待に気づいたら」なども挙げられました。

今後は3月の総会に向けて、これら3つのテーマに分かれ、まとめていこうと思っています。



グループ討議

健全育成専門委員会



家庭教育専門委員会は、毎回、委員に対し、市P協の事業内容などの情報を提供しながら計画的に進めています。

今年は、家庭教育の大切さに焦点を当てて、夏休みや、冬休みの家庭での子供の様子や家庭内のエピソードなどをグループワーク形式で委員全員に発表してもらったり、家庭教育版の「公開ケース」を開催し、子供が巻き込まれやすい事件の事例を話したりし、家庭での親としてやるべきことは何かを考えていきたいと考えています。具体的には、子供が出かける時や帰宅時、食事の時などの声掛けや、テレビ、ゲーム、パソコンや携帯、スマホの時間帯など家庭における生活習慣、また、自主的な学習、机周りの整頓、学習方法など、自宅学習での取り組みなどに絡め、家庭教育における対話の大切さについて特に重要であると思っています。



家庭教育専門委員会

専門委員長会は、5つの専門委員会の内容の情報交換をするとともに、委員長として会議を進めるに当たっての悩みや方向性を見出すために自主的に開催できる、理事会で認められた会議です。ここでの話から得られたことをヒントに、各委員会活動の活性化を図ることを目的としています。

今回、委員会毎の様々な工夫をお話ししていただきました。

研修専門委員会では、毎月の会議当日の開始1時間前に正副委員長だけで集まって、その日の進め方や内容について確認と打合せを行っています。

他の委員会は、なかなかそういった時間が取れないなどの理由で、どうしても委員長一人で考え、進めてしまうことになりますが、やはり、会議が行き詰ったり、一人で全部仕切ってしまったたりしがちで、委員長一人の負担が多くなります。

やはり、司会、進行、議事録やレジメ作成など、正副委員長で割り振って進める方がスムーズかもしれません。

また広報専門委員会や、研修門委員会では、委員一人一人に役割を担って頂き、責任を持って進めていただくことで、会自体が活発になるといった話も出ました。専門委員会に来られている方は、もともと単位PTAの会長や本部役員の皆さんですから、どなたも信念を持って来ておられ「やる時はやる」方ばかりです。そんな力のある方がそれぞれ充分に能力を発揮していただけるように、さらに活発になるように、話し合いました。

その他、会議終了後には親睦を図るために必ずランチ、という委員会もあります。もちろん自由参加ですが、ランチの方が面白い話題ができるという場合もあります。また、お互いの気心を知る近道かもしれません。

男性委員は、どの専門委員会でも少ないので、男性の視点での貴重な意見も聽けるからと、グループ討議などでは、分散し入っていただくなど、委員長として盛り上げるために、様々な工夫をされているようです。共通して各区や連合会へいかに専門委員会の情報を伝えていくかという事が課題のようです。

3月の総会（活動発表会）に向けて、 3月で専門委員会の会議活動は終了です。

専門委員会の会議は3月の総会をもって終了となります、今年も、一般会員への参加を呼びかけています。これに伴って委員会活動は2月頃から準備に入ります。1年間の委員会活動を通じ得ることができるのは、異校種を知る、また他の地域性や単PTA活動を知ることだけではありません。人として、またPTAとしてのスキルアップという自己研鑽の場でもあります。そして何よりも、今後、この「人と人とのつながり」が大きな財産となっていくことだと思います。

最後に、委員長から、このような専門委員長会をもっと積極的に開催した方が良い、との声もあり、今後に向けての参考になればと思います。



専門委員会間の情報交換を行う専門委員長会。

 神戸市PTA協議会

〒650-0044

神戸市中央区東川崎町1-3-2

神戸市総合教育センター内

TEL(078)360-3453